

風^{かぜ}がそよそよと吹^ふいていた。

庭^{にわ}の木^この葉^はが、そつと揺^ゆれる。

小鳥^{ことり}のさえずりが、やさしく響^{ひび}く。

そんな静^{しず}かな朝^{あさ}だった。

佐藤^{さとう}春夫^{はるお}「ある日^ひの詩^{うた}」より